

H 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしろ。

日本の古代国家は、中国の国家体制をモデルにして中央集権的な国家体制を構築した。その「設計図」として利用されたのが、中国大陸で高度に発達した法体系の継受法としての律令法であった。

日本における律令法典編纂の歴史を概観すると、天智天皇の時代に完成したという近江令には存在をめぐって論争があり、実在の確かな最初の令は681年に編纂が開始され689年に施行された飛鳥浄御原令となる。これに基づいて翌690年には戸籍も作成されており、この時期に日本の律令制の基礎がつくられたと考えられる。律と令がそろって日本で編纂されたのは、701年の文武天皇の時代の大宝律令であった。757年に施行された養老律令は、編纂・成立過程には不明な点が多いが、(イ)らによってまとめられ、(イ)の孫の藤原仲麻呂が施行した。

養老律令をもって日本の律令編纂は一段落つき、平安前期には格式の編纂が行われる。古くは格式法＝慣習法と理解され、律令制の動揺・解体にともなって、継受法としての律令法にかわって慣習法が中心となっていく、というように考えられてきた。さらにこうした理解を土台にして、律令法以前の「固有法」の時代、古代における律令法の継受、慣習法の強い中世・近世を経て、近代には再び西欧近代法の継受が行われる、というサイクルが、日本の法の歴史に関する一般的な見方となってきた。

しかしながら、格式とは、本来的には律令を補完するものであり、決して単なる慣習法ではない。弘仁格の編纂は、渡来系氏族の出身である高野新笠を母親にもち、自己の権威の確立に力をそそいだ(ロ)天皇のもとで始まった。平安前期には令の注釈書も作成され、公定注釈書である『(ハ)』が成立している。これは中国的な律令格式を備えた国家を目指したものと考えられている。平安前期の唐風化の風潮のもとで格式の編纂は続けられた。式については、醍醐天皇の時代に編纂が開始された延喜式によって集大成された。

また、格式の編纂は、中国の「礼」の導入とセットになって行われた。朝廷が政治の実権を失った中世・近世社会において、公家社会が果たした重要な役割の1つが儀式にあり、それゆえに儀式・先例を研究する有職故実の学が盛んになったことを考えれば、平安前期における格式と「礼」の整備が後世に与えた影響は決して小さくはない。

律令法もまた、中世・近世社会において残り続ける。もちろん本来の律令法に対応する行政機構は形骸化してしまうが、「律令」を知らない「武家」の人々のために御成敗式目を制定したという北条泰時の**ことば**にみられるように、律令は朝廷を中心とした世界の規

範としての地位をもつことになる。現在に伝わる律令系の典籍には、鎌倉中期に北条実時が和漢の書籍を収集して建てた（ニ）の旧蔵書として伝わったものが少なくない。

戦国の動乱を経た近世国家においても、律令制の影響が失われたわけではない。律令制に由来する国郡制を基本として、豊臣政権や江戸幕府は全国の大名家から国ごとの地図である（ホ）を提出させた。また、徳川光圀の通称として知られる水戸黄門の「黄門」が中納言という官職の中国風の呼び方であるように、古代国家に由来する官職（官途）が武士の名乗りや身分標識として機能していた。そればかりでなく、幕藩体制の再建に伴って、明律の研究が盛んにおこなわれていく。当初は、木下順庵らを招いて学問を振興した加賀藩主の（ヘ）など有力諸侯のもとで研究が進められていた。やがて徳川吉宗の時代になると、幕府内部でも研究が始められるとともに、幕府の判例の整備が進んで、刑罰の客観的基準などを定めた上下2巻の法令集『（ト）』が編纂された。その後も、熊本藩で明律を参考にした大胆な司法改革が行われるなど、江戸後期における幕藩体制の改革に明律研究は一定の影響を及ぼした。日本の古代国家では『（ハ）』の編纂にみられるように「令」が重視されたのに対して、近世以降は国家統治の根幹として「律」の研究が盛んにおこなわれた。

明治新政府が新たな刑法典を整備する際にモデルとしたのも、律であった。立法・司法・行政の三権を統括する太政官制を設けて政府組織を整えたくあ年に、「仮刑律」が手始めに編纂されたと考えられている。その後、明律・清律などを参考にして編纂された「新律綱領」が全国の府・藩・¹⁴⁾県に頒布され、人々にもその内容が広く知られるようになる。古文辞学を始めるとともに経世論を説いて幕政改革にも参画したくい>の著した『明律国字解』という江戸中期の明律注釈書が、この時期に広く読まれるようになった。さらに1873年に頒布された「改定律例」は、「新律綱領」の修正を図りつつ、これと併用されていた。日本の刑法典としては初めて条文に通し番号を付し、懲役刑のように近代的な刑罰に改めるなど、西洋法の影響もみられた。このように明治初期には、日本古代の国家機構に由来する名称の機関・役所や法律が多く設けられていた。中国律系の刑法典が役割を終えるには、ヨーロッパの法典にならった刑法の公布・施行を待たなければならなかった。¹⁶⁾

このように7世紀から19世紀まで律令は形を変えながら、国家支配の根幹を支えるものとして日本社会と法に大きな影響を及ぼし続けたのである。

A. 文中の空所(イ)～(ト)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>・<い>にあてはまる適当な語句または数字を，それぞれ対応する次の

a～dから1つずつ選び，その記号をマークせよ。

- | | | |
|-----|---------|---------|
| <あ> | a. 1867 | b. 1868 |
| | c. 1869 | d. 1870 |
| <い> | a. 荻生徂徠 | b. 太宰春台 |
| | c. 中江藤樹 | d. 山鹿素行 |

C. 文中の下線部1)～16)にそれぞれ対応する次の問1～16に答えよ。

1. これに関する記述として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び，その記号をマークせよ。

- a. 国司には地方豪族が任じられ，任期は当初6年，のちに4年となった
- b. 七道にそって駅路が整備され，約16kmごとに駅家が置かれ，官吏の往還などに利用された
- c. 成人男性3～4人に1人の割合で徴発した健児を上京させて，衛士として都の警護につかせた
- d. 度量衡を統一するために宣旨^ノ^ヲ^定めて，租や公出^ノ拳^ノの収納に利用した

2. この人物に関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び，その記号をマークせよ。

- a. 皇太子として国政を担い，白村江の敗戦をうけて水城の築城など防衛政策を進めた
- b. 最初の全国的戸籍として庚午年籍を作った
- c. 即位前には，中臣鎌足らとともに蘇我入鹿を滅ぼした
- d. 八色の姓を制定して，新たな身分秩序を編成した

3. 奈良時代のこれに関する記述として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び，その記号をマークせよ。

- a. 女性を男性と偽って登録する動きが広がっていた
- b. 調庸を徴収するための基本的な台帳であった
- c. 8世紀に作成された現物が正倉院に残されている
- d. 毎年作成され，一人一人の名・性別・年齢などを記した

4. この人物の母親も天皇であったが、その天皇名として正しいのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 元正天皇 b. 元明天皇 c. 斉明天皇 d. 持統天皇
5. これに関連して、古墳時代におこなわれていた呪術的な風習として、熱湯に手を入れさせ、手がただれるかどうかで真偽を判断する神判の方法の名を漢字 4 字でしるせ。
6. これに関連して、最初に成立した勅撰漢詩文集の名をしるせ。
7. この天皇の治世の出来事でないのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 阿衡の紛議が起こって関白の政治的地位が確立した
b. 『古今和歌集』が完成した
c. 三善清行が意見封事十二箇条を進上した
d. 六国史の最後である『日本三代実録』が完成した
8. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 江戸末期に至るまで、朝廷は幕府の承諾を得ずに独自に改元・改暦を行うことができた
b. 応仁の乱後、多くの公家が大内氏の城下町の博多へ下り、京都の文化が波及した
c. 『古今和歌集』の解釈が秘事として口伝され、古今伝授としてまとめられた
d. 羽柴秀吉は後陽成天皇から藤原姓を賜り、太政大臣に就任した
9. これに関する室町時代の代表的な学者で、『樵談治要』という政道書を執筆した人物の名をしるせ。
10. この人物が執権在任の時期に征夷大將軍をつとめ、將軍位を退いたのちも子の將軍の後見として幕府政治に影響力をもった人物の名をしるせ。
11. この人物が中心となって編纂され始めた歴史書として正しいのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 大日本史 b. 中朝事実 c. 読史余論 d. 本朝通鑑
12. この国との関係に関する次の出来事を年代順に並べたとき、2 番目に古いのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 足利義満が明に使者を派遣して日本国王の称号を得た
b. 尚巴志は明から冊封されるとともに、三山を統一して琉球王国を築いた
c. 寧波の乱をきっかけにして大内氏が明との貿易をほぼ独占した
d. 明は倭寇の取り締まりを求めて南朝方の懐良親王を国王に冊封した

13. この時期に改革を行った藩の1つである長州藩に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 越荷方において、諸国の廻船を相手に金融などを行って大きな利益をあげた
 - b. 地主から小作地を没収して再配分する均田制を実施した
 - c. 日本で最初の反射炉を築いて大砲製造所を設けるなど、軍事力強化をはかった
 - d. 琉球を介して中国に倭物を密輸出し、唐物を密輸入して、財政再建をはかった
14. これに関連して、政府が版籍奉還を命じた際に、各地の旧大名をそのまま任命した地方長官の役職の名をしるせ。
15. この事例として正しくないのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 宮内省
 - b. 元老院
 - c. 弾正台
 - d. 兵部省
16. これに関連して、1873年来日し、フランス法をモデルにした刑法を起草したフランス人法学者の名をしるせ。

Ⅱ. 次の文1～4を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 幕藩体制の成立後、幕府や諸藩は年貢米を売却して貨幣収入を得ることが必要となった。このことは、全国的な流通網の形成を促し、その結節点となった三都¹⁾は大きな発展を遂げた。しかし、近世前期においては、これらの大都市に限らず、諸地域において、様々な担い手によって、農業や鉱工業などの多くの分野で産業の発達が見られた。

農業においては、17世紀から18世紀半ばにかけて用水路の設置や干拓による新田開発が見られた。農業技術の改良が見られたのもこの時期の特徴で、小規模な家族労働に見合った種々の農具が考案された。進んだ農業技術の見聞を踏まえて、17世紀末には（イ）によって『農業全書』が著され、広く読まれた。農業以外の諸産業においても、発達が著しかった。製塩業では、揚浜法にかわって、高度な土木技術を要する（ロ）塩田が瀬戸内海沿岸を中心に発達した。

手工業にも変化が見られた。当初は都市の諸職人によって担われていたが、やがて村々でも多様な農村家内工業が見られるようになった。こうして、17世紀から18世紀半ばにかけて各地に名産物が生まれた。名産物は商人の手を介して三都³⁾に流入するようになったが、そこでの利益の多くは商人層の手中に収められた。

都市での商品需要の増大は諸物価の上昇をまねき、幕府や諸藩では支出が増加し、財政難に苦しむようになった。そのようななかで、8代將軍徳川吉宗が取り組んだ幕政の改革が、享保の改革である。吉宗は、改革にあたって、旗本の大岡忠相や川崎宿の名主で『民間省要』を書いた（ハ）などの有能な人材を登用した。改革の中心は、財政の再建であった。大名から石高1万石につき100石を臨時に献上させる（ニ）も、その方策の1つであった。これらの政策によって幕府財政はやや立ち直ったが、その後再び行き詰まった。

2. 19世紀になると、資本主義の発達した欧米諸国がアジアに進出し、幕府も開港を余儀なくされた。1859年から横浜（神奈川）⁴⁾などの3港で貿易が開始された。こうして幕末⁵⁾の日本は、自由貿易に基づく資本主義世界体制の一環に組み込まれていった。

明治前期において、各地に大きな影響を与えたのが、政府による殖産興業政策であった。政府は、旧幕府・藩から接収した鉱山・工場の経営や電信・交通の諸事業を、官営事業⁶⁾として開始した。その一方で、政府は在来産業も奨励した。1877年には、内務省に事務局をおき、東京の上野公園で第1回（ホ）博覧会が開催された。

政府の殖産興業政策に重要な影響を与えた人物の一人が、松方正義であった。1881年

に（ヘ）に就任した松方は、紙幣整理を行うとともに、軍事費を除いて徹底した緊縮財政を実施した。これによってデフレーションが深刻化し、米価や繭価は低落した。実質的に増大した地租や負債の滞納によって、多くの農民が土地を手放して小作農に転落した。その一方で、デフレが終息した1880年代後半になると、多くの企業が設立されるなど産業界は活気づいた。⁷⁾

3. 1929年秋にアメリカではじまった世界恐慌に、日本も巻き込まれた。日本は、1930年に金解禁をおこなったため二重の打撃を受け、深刻な恐慌に陥った。経済状態が悪化するなかで、1931年には満州事変が始まり、その前後には陸軍将校を中心に組織された秘密結社である（ト）⁸⁾が画策したクーデター未遂事件が発生するなど、軍部の影響力が徐々に増していった。

いったんは恐慌に陥った日本経済であったが、高橋是清蔵相による種々の政策の効果もあって、工業部門は1933年ころに他の資本主義諸国に先駆けて回復した。重化学工業化の傾向が顕著にみられるようになったのも、この時期の特徴であった。鉄鋼業では、八幡製鉄所を中心に大合同がおこなわれて国策会社である（チ）会社が設立された。軍部との関係を有した新興財閥も重化学工業に基盤をおき、朝鮮・満州へ活発な投資を行った。他方、恐慌に見舞われた農業部門に対しても政府の政策が実施されたが、農村における恐慌からの回復は遅れた。⁹⁾1931年の東北・北海道地方での大凶作は、農村の窮乏に拍車をかけた。

二・二六事件以後、軍部の政治的発言力が強まるなかで、日本は日中戦争へと突入していった。¹⁰⁾第1次近衛内閣は、輸出入品等臨時措置法とともに軍需企業への資金配分を行う（リ）法を制定し、軍需品生産のための経済統制を強めた。1938年には国家総動員法が制定され、これによって政府は、議会の承認なしに（ヌ）によって戦争遂行に必要な物資や労働力を動員できるようになった。恐慌に見舞われていた農村は、1930年代後半には回復傾向にあったが、戦争が拡大するなかで農業生産力は低下していった。

4. 第二次世界大戦後の高度経済成長によって、人々の生活や余暇は大きく変容した。産業面では、¹¹⁾第一次産業部門の比重が低下する一方で、第二次・第三次産業部門の比重が上昇した。このような高度経済成長を可能にさせた1つの要因が、石炭から石油へのエネルギーの転換と、それを支えた安価な原油の供給であった。

ガソリンを燃料とする自動車の生産が増加したことも、高度経済成長期における工業

生産の1つの特徴であった。自家用自動車は1960年代末以降に普及し、「新三種の神器」の1つに数えられた。自動車の普及は交通手段の変化を意味するとともに、大衆消費社会の到来を示す出来事でもあった。高速道路も整備されるようになり、1965年には(ル)高速道路が全線開通した。

工業開発と交通網の整備は、高度経済成長期の国土を大きく変容させると同時に、様々な問題も生み出した。太平洋ベルト地帯への工業の集中傾向が顕著となる一方で、水質汚濁や大気汚染などの公害が深刻化した。他方で、開発の進まない地域では過疎化が進行し深刻な問題となった。これらの地域に、電力各社が推進していた原子力発電所が建設される場合もみられた。1963年には、アメリカ・イギリス・ソ連が(ヲ)条約を締結し核軍縮の交渉が始まった。日本も(ヲ)条約を批准したが、この時期に、エネルギーとしての原子力の利用が日本国内で進められていった。

A. 文中の空所(イ)～(ヲ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

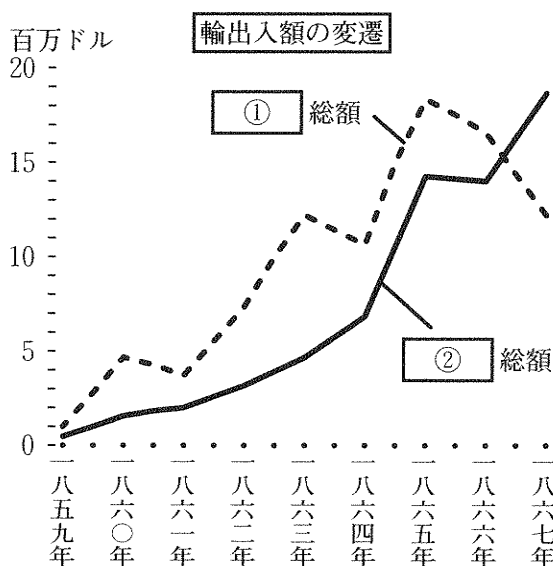
B. 文中の下線部1)～12)にそれぞれ対応する次の問1～12に答えよ。

1. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 大坂などの蔵屋敷に運ばれた諸藩の年貢米や特産物は、納屋物といわれた
 - b. 京都には京都所司代がおかれたため、町奉行は設置されなかった
 - c. 17世紀半ばには、江戸と京都・大坂を往復する三度飛脚の便がうまれた
 - d. 17世紀末には、江戸に二十四組問屋、京都に十組問屋が結成された
2. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 荒川から主に取水した見沼代用水が開削された
 - b. 樺海の干拓は、江戸町人などが請負人となり幕府も資金援助をした
 - c. 備前児島湾の干潟が、干拓により新田となった
 - d. 富士山麓へ芦ノ湖の水をひくために、箱根用水が開削された

3. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 絹織物に関しては、京都の西陣で伝統的な地機による高級品が独占的に織られた
- b. 磁器に関しては、朝鮮から伝わった技術により肥前の有田焼が発達した
- c. 綿織物に関しては、奈良晒や近江晒、越後縮が有名となった
- d. 和紙に関しては、紅花を主な原料とした美濃紙が有名となった

4. これに関する次のグラフは、貿易開始時からの輸出入額の変遷を示したものである。グラフ中の空所①・②それぞれにあてはまる語句と、③「貿易による国内綿作への影響」に関する記述の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。



- a. ①：輸出 ②：輸入 ③影響：貿易により国内の綿作は圧迫された
- b. ①：輸出 ②：輸入 ③影響：貿易により国内の綿作は拡大した
- c. ①：輸入 ②：輸出 ③影響：貿易により国内の綿作は圧迫された
- d. ①：輸入 ②：輸出 ③影響：貿易により国内の綿作は拡大した

5. この時期の出来事 a～e のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように v まで年代順にマークせよ。

- a. 和宮、結婚のため江戸にむけ出発する
- b. 坂下門外の変がおきる
- c. 桜田門外の変がおきる
- d. 下田駐在の初代アメリカ総領事として、ハリスが着任する
- e. 日米和親条約が締結される

6. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. イギリスからの技術指導を得て、富岡製糸場を建設した
 - b. 絹織物の振興のために、千住製絨所を開設した
 - c. 旧幕府が経営していた、高島炭鉱を接収した
 - d. 西洋の農法を導入するため、三田育種場を開設した
7. この時期に再結集した民権派への対策として政府が発した、治安を妨害する恐れのあるものに皇居などより 3 里以内の地からの退去を命じる内容を含む法律の名をしるせ。
8. これに関する次の出来事 a～e のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように v まで年代順にマークせよ。
- a. 関東軍が中国熱河省へ侵攻を開始する
 - b. 関東軍が溥儀を執政として満州国の建国を宣言させる
 - c. 塘沽停戦協定が結ばれる
 - d. 日満議定書が調印される
 - e. 柳条湖事件が発生する
9. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 小作料統制令を実施して、小作料の引き上げを認めた
 - b. 産業組合を中心とした、農山漁村経済更生運動を進めた
 - c. 自作農創設特別措置法を制定して、地主制の維持をはかった
 - d. 重要産業統制法に基づいて、時局匡救事業が実施された
10. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 広田内閣が決定した「国策の基準」に反対し、同内閣を総辞職させた
 - b. 広田内閣総辞職後、組閣の大命が宇垣一成にくだったことに反発した
 - c. 広田内閣による帝国国防方針の改定に反発し、これをやめさせた
 - d. 広田内閣の組閣に干渉し、軍部大臣現役武官制を廃止させた

11. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 食生活が変化し、冷凍食品の消費が増加した
 - b. 「鉄人28号」が国産の連続放送アニメ第 1 号となり、人気を得た
 - c. 夫婦と未婚の子のみからなる核家族が増加した
 - d. プロ野球が人気を集め、長嶋茂雄らが人気スターとなった
12. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. イタイイタイ病は、工場廃液に含まれる有機水銀が原因でひきおこされた
 - b. 1970年に公害対策基本法が改正され、「経済との調和」条項が削除された
 - c. 東京では美濃部亮吉が都知事に当選したが、公害を防止するための条例制定は見送られた
 - d. 四大公害訴訟は、いずれも被害者側の敗訴に終わった